

2019 年 4 月 11 日

○ 4月定例所長会見における発電所長挨拶内容

○ 所長の設楽でございます。

○ 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。

○ 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

○ まずはじめに、安全対策工事の状況についてです。

当所では現在、7号機を中心に耐震強化工事、火災防護対策、内部溢水対策など様々な安全対策工事を鋭意進めております。

耐震強化工事の一環である液状化対策については、今月に入り、7号機原子炉建屋大物搬入口の解体作業に着手いたしました。今月は、原子炉建屋との接続部分や大型扉の撤去作業を進め、来月には、大型の重機を使用して、搬入口本体の解体を実施することとしております。

○ 次に、新入社員の配属状況についてです。

今年度、当社と3つの基幹事業会社は、新卒採用として276名の新入社員を迎え入れました。このうち、当発電所には、地元新潟県出身者の10名を含む、46名が配属される予定です。

新入社員には、新鮮な視点で業務を見つめ、疑問や意見を持ち、職場で発信すること、事故の反省や教訓、現場の技術等をしっかりと受け継いでもらうことを期待しております。

新たに発電所の一員となる新入社員を含め、私どもは一層の安全性向上に取り組み、地域の皆さまから信頼いただける発電所を目指してまいります。

- 最後に、当発電所における「原子力モニター」の募集についてです。

当発電所では、地域の皆さまのご意見等をお聴きし、私どもの発電所の状況をご紹介する活動の一環として、立地地域にお住まいの方を中心に、「原子力モニター」として、意見交換会や発電所見学などの活動に参加いただいております。

昨年度は12名の方にご参加いただき、「普段入ることの出来ない施設内を見学出来て良かった。自分自身ももっといろいろなことを学び、子供達にも教えてあげたい」「地元の人達に可能な限り見学・視察の機会を設けてもらいたい」などのご意見をいただいております。

今年度につきましても、ニュースアトムやFMピッカラ等を通じて、原子力モニターに参加いただける方を公募いたします。

多くの皆さまにご参加いただき、様々なご意見を頂戴して、発電所の運営に活かしてまいります。また、原子力発電の仕組み、必要性、当発電所の安全対策、原子力防災などについて、お持ちになっている知識を広め、深める場として活用いただければと考えております。

- 本日、私からは以上です。

以上